

刊日

号新新

社開新常所行發
九五町南町平縣島福
次 藤 伊 入 行 發
港 吉 町 濱 名 小 縣 島 福

刊夕日一十二月六

一ヶ月 三十錢
一ヶ月 二十錢
一ヶ月 十錢
一ヶ月 五錢
一ヶ月 三錢
一ヶ月 二錢
一ヶ月 一錢
一ヶ月 五錢
一ヶ月 十錢
一ヶ月 二十錢
一ヶ月 三十錢

す、もし引取られれば直ぐ
買り飛ばされまますからこの
レビニー團にたいして泣
いて絶るのて養父は大目玉
を喰ひやい子は其のまゝレ
ビニーガールとしてゐるこ
とになった。

地方名士
長所と短所

管見
木田磐松氏
(三十)

人事往來
小野小濱町長は廿日佐
藤代議士渡歐送別會出席の
為平町に自動車を乗り今廿
一日福島市より東京方面へ
出張の爲出發した。

同高木助役は渡歐送別會
出席の爲廿日平町に出發し
たが同日夕刻江名町の折戸
理立地視察の後歸小した。

困つてゐた

上水道用地問題解決

ヤット頭痛が治つた江名當局

江名町上水道工事着工以會見の上地上物權の保証料
來水道敷地の買収に應せぬとして金三百九十圓也を役
中之作蘭田嘉藏氏他二名に場側で出し所有地の承諾書
對しては問題が紛糾し裁判を役場側で蘭田氏等から取
所まで出されて一概町民のつて困難に解決はで永い間
興味を唆つてゐたが土地收買の種だつた上水道工事
用法適用に就いては小林平中の難問用地問題は無事解
土主監督所長の仲裁に依り決した譯である。
十九日午前中役場内で兩者

街の姫君

泥沼に咲く 花の心意氣

遠い異郷の吾子に思ひを馳せて
貧困兒救済に寄附

開にうごめき白粉と酒と命に働き蹴々として忙しい
肉の世界に没心して諸々の主家の客筋の應接にめまぐ
醜い社會惡の温床となるらしい。
ん底の彼女達の生活にも人
の子としての心意氣がある 然し何處か寂しい彼女の
江名町大森屋抱へ麗子こ 彼女の過去生活である。
と猪又とみ子の人生苦闘史 彼女には二人の兄まであ
彼女が本年二月現在のより東京市役所に勤務する夫
主家に來てより以來堅く身があつたのであるが生來の
を守つて浮いた噂もなく懸溺兒である夫の爲に罪もな

七年前離別された、たつ
た一人の老母を抱へて女の
細腕に世の荒波と戦ひ續け
るが途に現在の職業まで轉
落する餘儀ないことになつ
たのであつた。
母を思ひ吾子を思ふ彼女
の常に腦裡にあるは遠い北
海道の寒地へ冷酷な夫の爲
やられてゐる吾子の姿であ
り、吾子を思ふ彼女は常陸
大宮町に居る時土地の小學
校の貧困兒に金卍圓を寄附
して吾子への思ひを廣い母
性愛にまで發展させてゐる
僅かな金であるとは云ひ
泥沼に咲く彼女達の此の人
間味を我々は深く考へなけ
ればなるまい、自己を殺し
て肉身の周圍の犠牲となつ
て居る彼女達の上には幸福
を祈りたい。

下神白共同作業場躍進
設備の擴張希望さる

江名町下神白共同作業場は近に至つてとんど利用さ
作業開始以來配給と利用のされる様になり、製米の手数
續けてゐるが配給は現在同つて歸るため農家の非常
作業者の保管する信用組合な利益になり現在朝八時か
の米を組合員に配給してゐる午後四時まで十五位位や
る比較的組合員のそれに對つてゐるが今後は少なく共
する理解がなく格安に買へ一日廿五位位能率を上げな
るものを一般商人から購入すれば間に合はない様な利
して一升に就き一錢から三用率である。
錢の損を見てゐる状態であ製麥の方は現在二石位であ
り、組合で廿九錢五厘の今後は麥が殺到する見
の時小名で廿九錢江名で卅二錢なので四石位の能率が必
錢から卅一錢の格差がある製で現在の製麥機では間に
合はなない様な状態である。
製米機も今後の利用増加の
を設備して最初は地元民のモーターが欲しくなつてゐ
利用が間に少なかったが最の様だ。

政府拂下米
本縣は
壹萬五千俵か

本縣の在米高は作年の凶
作以來益々減少し五月一日
現在の調査の結果稀に見る
在米高の減少を示し農家は
秋の收穫期を前に極度の飯
米不足を告げてゐるのに鑑

石炭
一味一網打盡
黒ダイヤの崇り

石炭部内郷村宇野伊野三
次(假名)は友達四人と共に謀
五月初から撤回最近まで發
炭の石炭置場から約十五ト
ンの石炭を盗取したこと發
覺廿日平署に關係者全部檢
査されたが同人等は皆城炭
礦の貯炭場荒しとして捜査
中のものであつたが遊興費
にあつてゐる爲の盗みである
らしい。

天候豫報
小名濱測候所發表
今晩 南東の風 驟雨
明日 南の風 驟雨
次第に良くなる
氣壓七百六十二・二六
【警報】風雨強かるべし

漁たより
(二十日分)
小名濱 魚市場調査
魚名 魚獲高 單價割
カツク 三百本 九・八 五割
アジ 七十籠 四・一 八割
メダカ 十五籠 一・一 一割
ノドグロ 八十貫 四・一 五割
ガラ 百貫 六割
スズキ 卅二貫 廿二割
イワシ 三百五十箱 五十割
タナゴ 百貫 六・一 五割
入港數
大敷船 大敷船
アグリ船 大敷船
タナゴ船 大敷船
カンコウ船 大敷船
他陸送物三口 五五二一四

街の噂

あつたか考へて見て下さい

暑い、と海岸に出かけた若い男、ふと前方を見ると、暗い海岸の舟のかけに、何かボン／＼動く気配に、年分恐い氣で近づいて見ると、古港あたりの或る商店の娘さんで、水野女学校に通つてゐるお嬢さんが何か若い男の子と懸命に話してゐて、人影に驚いて逃げる様にして去つてしまつた。

◆ 小名濱の火葬は石炭で焼くので、明日そこを通つた船くんでなくて電氣でやくと、の人達の目に何か譯らないか、それでは客待ち内か、赤い布が落ちてゐたので珍らしいが、首に巻いて得意氣仕掛でやるとは新時代のミナサン果してそれが何でリーデーだけある安心々々になつてゐた。

當る六月廿三日(正六時開演)

福引景品付 (モレナク進呈)

小名濱勉強商店

御得意慰安浪曲會

(出演者名)

東栗岡 三光
東 光子嬢
天中軒 如雲月
宮川 若左近
桃中軒 雲入道
篠田 實一

無料入場券は當地辻ビラある商店にて差上ります
無料券金三十銭
入場料金三十銭
磐城座

良品廉賣に勝る商略なし

磐城セメント特約代理店

釜屋商店

磐城平町五丁目
電話九番九九九番
東京磐城貯金口座一〇九五六

眼科一般

小名濱眼科醫院

小名濱町

サコメ球



開陽堂藥舖

松崎 勳
小名濱銀座街

脊柱調整院

小名濱西町
院主 大高進

小名濱分院開設

毎週月、水、金、午後五時出診

大和田醫院

本院 平町南町一六
電話平一七〇番

工場擴張報告

新工場増築三十坪を加へ工場機械整備各位の御注文に對し技術改善は勿論廉價迅速に製作可仕候間倍舊の御愛顧を希上候

製作品種目
高壓タービンポンプ
電動捲揚機
コロック旋風機
送炭用チェーンコンベヤ

吉伴製作所

福島縣平町字堂前
電話平二二五番

齒の治療は池部齒科

日本形セメント瓦製造
配合確實
最優良品
色合注文ニ依リ
高木惣治
小名濱町西町



樋口吳服店

小名濱町中島通り

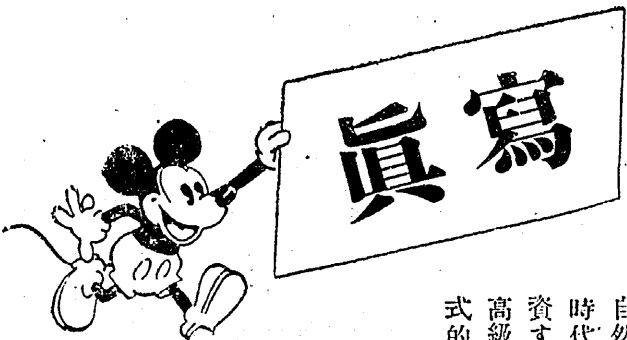
列田口文平商店

磐城特産魚節買並に粉末製造
乾鹽魚肥料養鶏飼料甘藷商
福島縣平町二丁目
電話五二二番
電話(タクチ)又(ハタ)

田中鐵工場

諸機械及各種ポンプ製作
並に修繕取付建築金具
ポールド類
小名濱町中町(五左工門隣)
田中 勝 榮
田中 鐵 工場
酸液接器の設備
自動車修繕部

小名濱印刷所



自然研究から世の人のために
時代形像を記録して後世に傳達する更に社會藝術化に
資する大慈大悲主義の寫眞
高級寫眞とは精神と個性技能の作品にして抵敵なる形
式的寫眞に非ざるなり御覽評も乞ふ

美學寫眞技藝員
金井 晃明
金井 晃園
背像引伸、昇明式寫眞、油繪揮毫に應ず。
其他萬般の寫眞萬能的攝影技能出張にも應じ申す
可く御用命賜らん事を……

江名港
二見寫眞部